

GR Garage 浦和美園

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup

プロフェッショナルシリーズ第3戦

クラブマンシリーズ第3戦

6月14日(土)～15日(日)

スポーツランドSUGO(宮城県村田町)



## GR Garage 浦和美園 CAMP レポート

GR86/BRZ Cup の第 3 戦がスポーツランド SUGO で行われました。プロフェッショナルシリーズには GB ドライバーの吉田広樹選手と渡辺圭一選手が出場。クラブマンシリーズには大森和也選手が出場しました。エントリー台数はそれぞれ 28 台、41 台です。本大会は土曜日に 20 分間の予選、日曜日に 13 週の決勝を行うスケジュール。GR Garage 浦和美園 CAMP の 3 人のドライバーは木曜日から走行を開始しました。金曜日は走行枠がひとつしかないため、積極的に周回を重ね、本番に向けたセットアップを実施。ドライで行われた金曜日の専有走行では吉田選手が 5 位につけており、好調をキープしています。

土曜日(予選日)の天候は前日と打って変わっての雨。プロフェッショナルシリーズの予選は 14 時 10 分から行われ、吉田選手と渡辺選手が連なってコースイン。路面状態を確かめ、アタックを開始します。周回を重ねる毎に路面状況が改善し、多くの選手がタイムアップを果たす中、吉田選手もタイムを伸ばし、7 周目に 1 分 40 秒 725 をマーク。15 位で予選を終えました。渡辺選手も難しいコンディションの中、落ち着いてタイムを削っていき、9 周目に 1 分 45 秒 525 のベストラップをマーク。28 位で予選を通過しました。日曜日(決勝)の天候は晴れ。プロフェッショナルシリーズの決勝は 14 時 04 分から行われ、吉田選手は順当なスタート。1 台抜き、15 位で 1 周目を終えると、翌周にも 1 台をパス。13 位に順位を上げます。4 周目に上位のピットインにより 12 位へ。6 周目には 2 台が脱落したため、ポイント圏内の 10 位に浮上します。その後も上位の脱落が続き、9 周目に 9 位に上がると、翌周には他メーカーのタイヤを使用する畠林選手(504 号車)をパス。8 位でチェッカーを受け、今シーズンの初ポイントを獲得しました。28 番グリッドからスタートした渡辺選手は、ひとつ順位を上げ、27 位で 1 周目を終了。前の選手とは僅差で、落ち着いて周回を重ねます。4 周目と 5 周目には上位選手の脱落があり、25 位へ。渡辺選手は順位をキープし、レース終盤に突入します。10 周目と 11 周目、上位のピットインにより、23 位に上がると、12 周目の 1 コーナーで服部選手(70 号車)をパス。22 位でチェッカーを受けました。

一方、大森選手が出場したクラブマンシリーズ。ドライで行われた専有走行では 7 位につけていましたが、ウエットで行われた予選は苦戦。ピットに戻ってタイヤの内圧を調整するなど、積極的にトライした結果、最後のアタックで 1 分 47 秒 529 のベストタイムをマーク。トップ 10 を狙える 17 位で予選を終えました。ドライで行われた決勝では本来のペースが復活。1 周目に 15 位まで順位を上げると、3 周目には 1 台抜き、14 位へ。7 周目には混戦の中で 2 つ順位を上げ、ポイントまであと 2 つの 12 位を走行します。大森選手は順位をキープしチェッカー。レース終了後、上位の選手が失格になったため、正式結果は 11 位でした。

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ  
#160 GRG 浦和美園 IDI BS GR86  
**吉田広樹選手 決勝 8 位**  
予選 15 位(1 分 40 秒 725)

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ  
#522 GRG 浦和美園 CAMP IDI GR86  
**大森和也選手 決勝 11 位**  
予選 17 位(1 分 47 秒 529)

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ  
#8 ジェイ・シー・エス GR 浦和美園 GR86  
**渡辺圭一選手 決勝 22 位**  
予選 28 位(1 分 45 秒 525)



## DRIVERS VOICE/MECHANIC VOICE

## GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

## 吉田広樹選手

ブリヂストンにアドバンテージがありそうだったので、それをうまく使って追いつけようと思っていました。前の方に10位前後のドライバーがいて、結構バトルが多く、その中でうまくポジションを上げられ、前の方で接触が起きたタイミングでも順位を上げられました。メカニックが短い期間でエネルギーを使って準備してくれたので、優勝や表彰台で返せば一番良かったのですが、ポイントまでたどりつきましたし、やっと今シーズンのスタートができたという感覚です。ぼくもチームももっと上を目指しているのでも、焦らず少しずつ順位を上げ、優勝や表彰台を争うレースができればと思います。

## 渡辺圭一選手

坂道スタートだったのですが、反応は良く、スルスルすると出ていきました。オープニングラップで1台抜き、その後は、前のダンロップ勢のペースが良いので、様子を見ながら走っていた感じです。服部さんを抜いたのは1コーナーです。他のコーナーで抜くのは無理しないといけなかった感じでしたが、最終コーナーではブリヂストンタイヤの方が速いので、ストレートで並んで1コーナーで抜きました。本当はもっと前にいきたいのですが、前回のことがあったのでクルマをいたわり、全開シフトをせず、ゆっくりシフトチェンジしました。後半にチャンスは来ると思っていたので、それにかけていました。

## GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ

## 大森和也選手

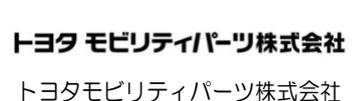
17番手スタートで、5台抜きの12位チェッカーでした。ドライで速く走る技術はある程度身につけてきたと思うのですが、ウエットで行われた予選、雨でリアが不安定な時は自信を持って攻め切れませんでした。この先も雨のレースがあると思うので、タイヤの内圧とかもありますが、自分を信じてドライビングすることだと思います。次戦、十勝は苦手意識がそれほどないコースです。今回ドライでいろいろなことを試させてもらい、かなりいい方向に進んでいるので、そこからアジャストしていけばいいところに行ける感触があります。優勝してシリーズ優勝にからめるように頑張りたいと思います。

## 北本南支店・宮内悠樹

522号車を担当しました。去年ヤリスカップに参加したのですが、GR86/BRZ Cup は一段階ステップアップしたような感じです。細かいところに気をつけてやっていくので、おもしろさと大変なところがあります。いい経験になりました。タイヤ空気圧の管理もやっていたのですが、お店では基準値に合わせればOKですが、レースでは100分の1まで合わせたりするので、そこが大変でした。



## PARTNERS



SPECIAL THANKS

